

集計結果

実施日 令和5年11月6日(月)～11月24日(金)
【回収数/配布数:7/113 回収率 6.2%】

「A」:よくあてはまる(強くそう思う) 「B」:ほぼあてはまる(ほぼそう思う)
「C」:あまりあてはまらない(あまり思わない) 「D」:あてはまらない(全く思わない)
「無」:無回答・分からない

評価目標	評価項目	A	B	C	D	無
2 3 4 5 6	①学校は、児童・生徒の能力に応じた個別最適な学びを保証している。	29%	29%	14%	0%	29%
	②学校は、早期(単元・題材のまとまりごと)に児童・生徒の学習状況を把握し、授業改善を行っている。	29%	14%	0%	0%	57%
	③学校は、児童・生徒の学びへの好奇心が高まる授業を行い、「なぜ」「どうして」を大事にしている。	43%	14%	0%	0%	43%
	④学校は、児童・生徒の「特別の教科 道徳」をはじめ道徳教育を充実し、自分の考えを基に討論する機会を積極的に設け、内面に根ざした道徳性の育成を図っている。	43%	43%	14%	0%	0%
	⑤学校は、児童・生徒にICTの効果的活用(タブレット端末、デジタル教科書)を行っている。	43%	29%	0%	0%	29%
7 8 9 10	①学校は、児童・生徒理解に基づいた寄り添う指導を行っている。	71%	14%	0%	0%	14%
	②学校は、児童・生徒の内的心情に訴える生活指導を行っている。	29%	14%	14%	0%	43%
	③学校は、児童・生徒に多様な価値観を認められるように指導をしている。	29%	29%	0%	14%	29%
	④学校は、児童・生徒が仲間や人を大切に、思いやる心を育てている。	43%	43%	0%	0%	14%
	⑤学校は、児童・生徒が学ぶこと、自己の将来とのつながりを見通しながらキャリア教育の充実を図っている。	29%	29%	0%	0%	43%
11 12 13 14 15	①児童・生徒は、保護者・地域と協同して学校行事を行っている。	71%	29%	0%	0%	0%
	②児童・生徒は、異年齢集団の中で、合意形成を図りながら活動を行っている。	57%	29%	0%	0%	14%
	③児童・生徒は、ガイダンス機能を働かせ、SOSや悩みを発信できている。	14%	43%	0%	0%	43%
	④児童・生徒は、自主的・実践的に取り組むとともに自発的、自治的な活動を行っている。	43%	29%	14%	0%	14%
	⑤児童・生徒は、集団の中でお互いの良さを認められている。	29%	43%	14%	0%	14%
16 17 18 19	①学校は、保護者・地域と協働して学校行事を行っている。	71%	14%	0%	0%	14%
	②学校は、保護者会や学校便り、学校ホームページなどを通して、保護者や地域に教育情報を発信している。	29%	29%	43%	0%	0%
	③学校は、学校運営協議会と連携を取り、協働して運営している。	14%	29%	0%	0%	57%
	④学校は、運動会などの開催において、地域の方々と連携して運営を行った。	43%	43%	14%	0%	0%
20 21	①学校は、設備・備品は充実しており、満足できる学習環境である。	14%	29%	14%	0%	43%
	②学校は、校庭やプール等の校内整備や校内美化に取り組んでいる。	57%	29%	14%	0%	0%

※網掛け黒字:「よくあてはまる」「ほぼあてはまる」の回答の割合が80%を超えた項目
※網掛け(濃い)白字:「あまり当てはまらない」「あてはまらない」「無回答・分からない」の回答の割合が40%を超えた項目

小学校教育目標

『自立』
・よく考え やりとげる子
・思いやりがあり
助け合う子
・明るく たくましい子



開校150周年記念式典 令和6年1月20日(土)開催

AOGASHIMA 学校だより

令和5年度地域人材・資源活用推進校
令和5・6年度東京都教育委員会人権尊重教育推進校
令和5年度 臨時号 令和6年2月15日
青ヶ島小中学校HP <https://aogashima.ed.jp>

中学校教育目標

『自立』
・自ら考え、工夫し
進んで学びつづける生徒
・心豊かで、互いに
尊重し合える生徒
・心身ともに健康で、
たくましく生きる生徒

令和5年度「学校の教育活動に関するアンケート」集計結果について

校長 鉢呂 哲也

日頃から本校の教育活動にご理解、ご支援いただきましてありがとうございます。また、「学校の教育活動に関するアンケート」では、地域・保護者の皆様からのご回答をいただきありがとうございました。

学校の教育活動に関するアンケート結果については、全21項目中、「無回答・分からない」と回答いただいた項目が16項目ありました。特に、「あまり当てはまらない」「当てはまらない」「無回答・分からない」という回答の割合が40%を超えた項目につきましては、考察及び補足説明をさせていただくとともに、今回いただきました結果を今後の教育活動へ生かしてまいります。来年度も本校の教育活動にご理解とご支援賜りますよう、お願い申し上げます。

1 青ヶ島小中学校の教育活動の概要

(1) 学習指導「楽しく分かりやすい授業」



かんも・里芋・稲の栽培等、地域人材・資源を活用した学びの充実



学びへの好奇心、探求心を高める個別最適な学びの充実



タブレット端末を効果的に活用した学習の充実

(2) 生活指導・進路指導「一人一人の特性を理解し心に寄り添う指導の実現」



児童・生徒理解に基づいた寄り添う指導の充実
(写真は小学校 いじめの授業の様子)



人権尊重教育尊重校の実践と心を耕す道徳教育の充実



9年間を見通した生活指導の充実(写真は小学校生活オリエンテーションの様子)

(3) 特別活動・その他「すすんで取り組み、責任をもってやりとげる活動」



異学年集団の中で合意形成を図りながら行う学級会



小中学生による「くろしお会」が企画した集会活動



集団の中で互いの良さを認め合える活動・地域交流の活動

(4) 学校運営「全教職員の学校運営への参画」



学校運営協議会との連携・協働。



全教職員・保護者・地域が参加する運動会の実施



小中学生合同による学習発表会の実施(会場に作品掲示)

2 考察及び補足説明

「ア 楽しく分かりやすい授業」

(1) 2-② 児童・生徒の学習状況の把握と授業改善について

学校では、児童・生徒一人一人のよい点や進捗の状況などを積極的に評価し、学習したことの意義や価値を実感できるようにしています。各教科において、教員は、「児童・生徒にどういった力が身に付いたか」という学習の成果を的確に捉え、指導の改善を図っています。また、児童・生徒自身が、自らの学習を振り返って、次の学習に向かうことができるように、ワークシートやタブレット端末を活用するなど、指導を工夫しています。今後も、タブレット端末を日常的に活用し、授業改善を推進してまいります。

(2) 3-③ 児童・生徒の学びへの好奇心が高まる授業について

学校は、児童・生徒が、「わかった」、「できた」、「楽しい」と実感することができるような「楽しく分かりやすい授業」を目指しています。児童・生徒が「なぜだろう」「どうしてだろう」と不思議に思う事象に出会う機会を多く設定するために、地域・外部人材を講師としてお招きした出前授業を積極的に行っています。

今年度は、「パッションフルーツ授粉・収穫体験」、「かんも・里芋の苗植え」、「カラスバト」、「青ヶ島の自然・植生」、「稲の脱穀体験」、「バスケットボール」、「情報モラル」、「韓国の農楽」、「日本証券業協会おかし株式会社」、「島踊り講習会」など、様々な専門分野の方を講師としてお招きいたしました。

次年度は、児童・生徒が、より一層学びへの好奇心を高め、「青ヶ島を語る力」を身に付けることができるように、総合的な学習の時間を中心とした授業改善を推進してまいります。

「イ 一人一人の特性を理解し、心に寄り添う指導の実現」

(3) 児童・生徒の内的心情に訴える生活指導について

本校では、児童・生徒一人一人が、安心・安全に学校生活を過ごすことができるように、4月当初に生活指導オリエンテーションを行っています。「あいさつ」、「言葉遣い」、「時間の使い方」などの生活目標について、児童・生徒一人一人が、目標を立てて意識して取り組むことができるように支援しています。

児童・生徒一人一人が自身の行動を振り返る場面においては、学校は、児童・生徒の心に寄り添って、自身の成長や変容を実感することができるように、支援しています。今後も、児童・生徒一人一人が、自分で考えて正しい行動を選択して実践することができるように、保護者と連携して支援してまいります。

(4) キャリア教育の充実について

今年度小学校では、日本証券業協会の方を講師としてお招きして、小学生が、「株式会社」について体験的に学習しました。架空のおかし株式会社を想定して、二人組になって新商品の開発を考え、発表しました。児童一人一人がアイデアを出し合い、「株式会社」について楽しく学ぶことができました。

また、中学校では、地域の方にご協力いただき、職場体験を行っております。生徒が、青ヶ島村で働く方々の様子を見たり、実際に体験したりすることで、働くことや学ぶことの意義を理解するとともに、自己のよさを生かしながら将来への見通しをもつことができるように、支援しています。

今後も、児童・生徒一人一人が、各教科の学習を通して、将来の生き方について考える活動を行ってまいります。

「ウ すすんで取り組み、責任をもってやり遂げる活動」

(5) 13-③ 児童・生徒のガイダンス機能と SOS や悩みの発信について

本校では、不登校やいじめの防止、温かな人間関係づくりのために、いじめに関するアンケートや学校生活と友達関係に関するアンケートを行っています。学校は、児童・生徒が心の中で抱えている、ストレスや悩みなど、児童・生徒の SOS を見逃すことがないように、保護者と連携して対応しております。また、1年間を通して、スクールカウンセラーによる児童・生徒全員面談、保護者面談など、学校はスクールカウンセラーなどの専門家と連携して対応しております。

今後も、児童・生徒が安心して学校生活を過ごすことができるように、スクールカウンセラーや関係諸機関、保護者、地域の皆様との連携してまいります。

「エ 全教職員の学校運営への参画」

(6) 17-② 保護者・地域への情報発信について

今年度、本校の学校ホームページにつきましては、スマートフォンなどから閲覧しやすいように、リニューアル致しました。学校便りに掲載いたしました「二次元コード」を読み取ることによって、学校ホームページに容易にアクセスすることができます。ブログを積極的に更新し、学校行事だけでなく、日常の授業の様子などについても情報発信に努めております。また、学校便り、学校要覧、その他お便りなどを学校ホームページに掲載しております。次年度は、学校便りに掲載する情報を精選し、引き続き保護者・地域の皆様に、本校の教育活動についてご理解を深めていただくことができるように、努めてまいります。

(7) 18-③ 学校協議会との連携について

今年度の学校運営協議会は、年3回実施しています。運動会や学習発表会後の振り返りや、令和6年度学校経営方針に関する協議など、学校運営協議会の皆様と共に、本校の教育活動の質的向上を目指して取り組んでおります。学校運営協議会からの意見をしっかりと次年度の反省に生かして教育活動の改善を図ってまいります。

「オ 校内環境」

(8) 20-① 設備・備品、学習環境について

今年度は、デジタルビデオカメラ、デジタル一眼レフカメラ、ICT 周辺機器などの備品・設備を整備し、保護者・地域限定の学校行事における YouTube 配信、保護者限定の青ヶ島小中学校 WEB 写真アルバムの公開など、情報発信を積極的に行ってまいりました。次年度は、大型テレビモニター等の設備を整備し、ICT を活用した学習指導の充実を図ってまいります。

来年度は、より一層多くの保護者・地域の皆様に、ご回答いただき、ご理解いただくことができるように、アンケートの実施方法等を改善してまいります。学校便り3月号では、学校評価報告書を配布し、今年度の学校評価結果を報告致します。

今後ともご理解とご支援賜りますよう、よろしくお願いいたします。



学校ホームページ二次元コード